

地球温暖化対策

再生可能エネルギーの導入補助やPR

住宅用太陽光発電システムや木質バイオマスストーブ等の導入費用を補助したほか、再生可能エネルギー施設を広くPRし、再生可能エネルギーの普及を促進するため、次世代エネルギーパークとして情報発信しました。

省エネ対策や光熱費削減に向けた取組

情報統合管理基盤を用いた効率的な市有施設の運用を行ったほか、ESCO事業の実施により、省エネルギー化を進め、光熱費を削減しました。

環境配慮行動や温室効果ガス削減を促す事業を実施

スマートフォン等のアプリを活用し、気軽に楽しみながら環境配慮行動に取り組むシステムを運用することで、民生家庭部門の二酸化炭素排出量の削減を図ったほか、秋田市温室効果ガス排出状況推計調査を実施しました。



PM2.5の地域特性や季節変動を明らかにすることを目的として、成分分析業務を委託しました。



大気測定局（茨島）

水銀含有ごみ収集運搬・処分

家庭から排出された蛍光灯などの水銀使用製品を、集積所から分別収集し、選別、保管後「使用済み乾電池、使用済み蛍光灯の広域回収・処理センター」の指定を受けた事業所において、水銀含有ごみから有用資源の再利用を図り、併せて水銀回収を行う処理方法により処理しています。

事業の詳細についてお問い合わせは

秋田市環境部環境都市推進課計画担当

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号

TEL 018-888-5706 FAX 018-888-5707

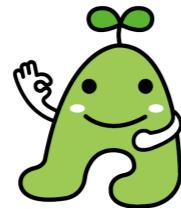
E-mail ro-evcp@city.akita.lg.jp



秋田市 手数料相当額

↑検索
詳細や前年度分等は
HPで確認できます

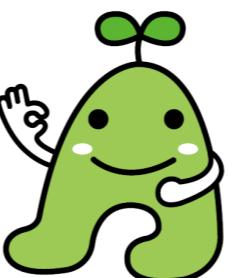
令和8年1月作成



家庭ごみ処理手数料相当額の使いみちについては、「広報あきた令和7年12月19日号」や「清掃事業概要」においても公表しています。

ちょうどいいから 住みやすい！
~市民と広げるまちへの誇りと愛着~

家庭ごみ処理手数料相当額の使いみちをお知らせします



秋田市ごみ減量
キャラクター
エコアちゃん

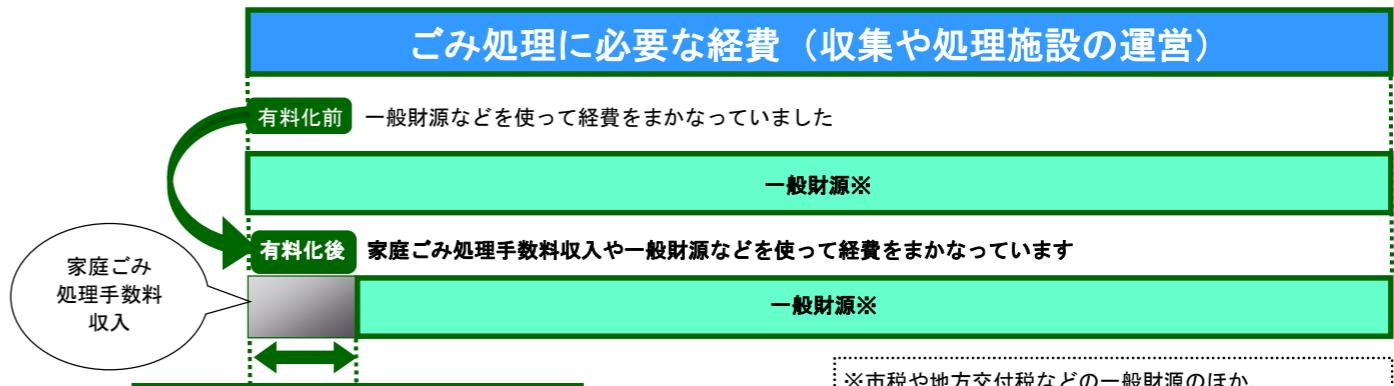
秋田市では、経済的動機付けによるごみ減量を進めるため、市民の皆様に家庭ごみ用指定袋の容量1ℓにつき、1円の家庭ごみ処理手数料を負担していただいており、有料化制度開始(平成24年7月)の前年(平成23年)度は、一人1日あたりの家庭系ごみの排出量は584gでしたが、令和6年度は476gまで削減されました。

毎年度、負担していただいた財源(手数料)は、全額ごみ処理に必要な経費に充てていますが、その結果、節減することができた一般財源の相当額は、将来の施設整備の積立てや、さらなるごみの減量、その他環境対策に資する事業の財源に充てており、その決算額を毎年公表しています。

次の世代の負担を減らし、私たちの美しい環境を未来へ引き継ぐため、今後もごみ減量にご協力をお願いいたします。

手数料相当額とは？

ごみ処理に必要な経費（収集や処理施設の運営）



家庭ごみ処理手数料収入
によって
節減できた
一般財源

家庭ごみ処理手数料相当額

家庭ごみ処理手数料相当額

4億1,802万8千円

将来の施設整備への積立て

2億901万4千円

2分の1を積立て

P 3

家庭ごみ減量等
対策事業

1億1,095万1千円

P 2, 3

その他の環境
対策事業

9,806万3千円

減量目標

一人1日あたり家庭系ごみ

(資源化物、水銀含有ごみを除く) 排出量



生ごみ減量の促進

生ごみ堆肥化容器・電気式生ごみ処理機購入費補助

生ごみの減量・リサイクルに取り組む意欲のある希望者に屋外設置型の堆肥化容器(コンポスター)の購入費を補助(費用の1/2)しました。

また、庭などの敷地がない家庭でも減量できるように電気式生ごみ処理機の購入費を補助(費用の1/2)しました。

補助実績
コンポスター 45基
電気式生ごみ処理機 36台

「オールあきた水切り月間」での啓発
生ごみの増える8月に「生ごみの水切り」を集中的にPRしました。



集団回収の普及促進

ごみの減量や資源のリサイクルを図るとともに、市民が共に資源の回収に取り組むことを推進するため、集団回収を行った団体等に奨励金を交付しました。

回収実績 2,524トン
(実施団体 547 団体)
(暦年)

資源化物の祝日収集

資源化物の排出利便性を高めるため、祝日に収集日があたる場合についても収集を行いました。



古紙回収の促進・支援

家庭からでる古紙について、回収業者、古紙問屋および最終受入業者と市が締結した協定に基づき、ステーション回収を実施しました。

回収実績
4,726トン

ごみ集積所の美化



※集積所の設置や修繕、簡易折りたたみ型や被せネットの購入等が補助の対象

各町内会等で管理しているごみ集積所について、負担軽減のため、設置や修繕にかかる費用を補助しました。

補助件数147件

家庭ごみ減量等対策事業 1億1,095万1千円

ごみ減量の情報発信

ごみ減量記事の掲載

「広報あきた」に特集記事を掲載しました。

「ごみの分け方・出し方手引き」を増刷

分別方法の手引きを増刷し、分別を周知しました。



7,000部
(A4版 28頁)

ごみ減量啓発グッズの製作とごみ削減の啓発

ごみ減量啓発グッズとして、お試しセットを10,000個製作したほか、ごみ減量分別講座・キャンペーンを開催し啓発を行いました。

ごみ減量の啓発

● 雑がみ救出大作戦



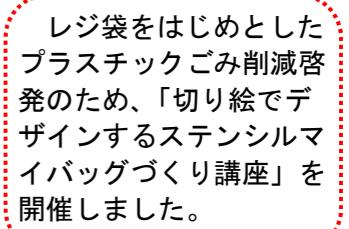
パンフレットを配布し、雑がみ分別を呼びかけました。

● 雜がみ分別袋の製作



底面がA4サイズで自立します。

● プラスチックごみ削減啓発講座の開催



レジ袋をはじめとしたプラスチックごみ削減啓発のため、「切り絵でデザインするステンシルマイバッグづくり講座」を開催しました。

不適正排出の抑止

不適正に排出されるごみを抑止するため、集積所の巡回パトロールおよび啓発活動を実施しました。



不適正排出件数
2,186件 (H25 23,077件)
不適正排出を警告するシール

不法投棄の防止

職員、委託業者および不法投棄監視員によるパトロール、監視カメラの活用ならびに不法投棄ゼロ宣言事業の実施などにより、不法投棄の防止に努めました。



発生件数
51件 (H24 116件)



家庭ごみ処理手数料の収納等

家庭ごみ有料化による手数料を収納し、小売登録事業者に徴収事務委託料を支払いました。また指定袋の規格検査を実施しました。



将来の施設整備への積立て

2億901万4千円

家庭ごみ処理手数料相当額(4億1,802万8千円)の2分の1である(2億901万4千円)について、将来世代の負担を軽減するため、一般廃棄物処理施設整備基金に積み立てました。

令和6年度末 一般廃棄物処理施設整備基金

現在高 14億3,958万8千円

令和5年度末 現在高	令和6年度		令和6年度 現在高
	積立額	取崩額	
13億272万8千円	2億1,758万円	8,072万円	14億3,958万8千円

令和6年度は8,072万円を取崩し、溶融施設の改修などの事業費の一部に充当しました。

※上記表の積立額には基金運用益等856万6千円が含まれます。



秋田市総合環境センター（溶融施設）
【平成14年3月竣工】
【平成24年3月増強工事】

令和6年度決算